

◎ 彙報

第六〇回原爆文学研究会

- 日時 二〇一九年二月二一日(土)
- 会場 九州大学西新プラザ大会議室
- 研究発表

原民喜の「人間」論

——『原爆以後』における「新しい人間」の位置づけ

後山 剛毅

教科書と「原爆文学」

——林京子「空罐」を中心に

中野 和典

○合評会

松永京子『北米先住民作家と「核文学」

——アポカリプスからサバイバンスへ』

川口隆行 一谷智子 松永京子

第六一回原爆文学研究会

- 日時 二〇二〇年八月八日(土)
- オンライン開催
- 研究発表

「造反教師」松元寛の「広大紛争」小説群を

50年後に読む

中村 平

○ワークシヨップ「震災」と俳句

司会から

報告1 久保田万郎と関東大震災

加島 正浩

報告2 五〇年代原爆俳句の射程

藤田 祐史

報告3 東日本大震災直後、俳句は何を問題にしたか

樫本 由貴

——御中虫『関揺れる』とは何だったのか——

加島 正浩

中原 豊

コメント

全体討論